

＜記入例＞

令和7年 4月 1日

令和7年度「学生と地域をつなぐ学まちコラボ事業（スタンダード枠）」申請書

次のとおり支援金の交付を申請します。

ふりがな こんそだいがくまるべけちいきみりょくさいはっけんぷろじえくと
申請事業名：コンソ大学〇×地域魅力再発見プロジェクト（新規・継続）

過去の採択事業名： 〇×商店街フリマプロジェクト（採択年次：令和元年度）

※注 学まちコラボ事業への申請について、「新規」または「継続」に〇をつけてください。

「過去に学まちコラボ事業に申請して採択された事業と類似する事業（申請者が同一のもの）」を申請する場合は「継続」に〇をつけ、直近の採択事業名及び採択年次を記入してください。

申請金額： 300,000 円 ※支援金の上限は、30万円です。

【1】申請者の概要

団体・グループ名	(ふりがな) こんそだいがくまちづくりサークル「がくまち」 コンソ大学まちづくりサークル「GAKUMACHI」		
代表者（※） <small>（団体等の代表者）</small>	(ふりがな) がく まちこ 氏名 学 まち子		
	大学名	コンソ大学	学年 3 回生
団体・グループについて	活動年数	3 年目	
	開始年月	2022（令和4年）年4月	
	団体・グループの人数（※）	20 名 （内、学生の人数 18 名）	
	所属大学	※団体・グループのメンバーが所属する大学名をすべて記入してください。 コンソ大学	
	団体等の概要（活動目的等）	京都市〇〇区の〇×商店街一帯および〇×地域の市民交流の活性化を目的とした活動を行う大学サークル	
	これまでの活動内容の概要	・〇×学区の小学生と保護者を対象としたものづくりワークショップ ・〇×商店街の空き店舗を利用したフリーマーケット ・〇×地域の区民交流館を拠点としたいきいき交流カフェ ・コンソ大学学生による〇×地域魅力再発見ツアー	
	Web・SNS URL	http:// /XXX.XXXX.XXXX ※採択時、大学コンソーシアム京都 HP で紹介します。	
	連絡窓口（※）	住所・担当者名等 <small>（※連絡の取れる方）</small>	住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 担当者（本事業の連絡窓口） (ふりがな) がくまち たろう 氏名 学まち 太郎 大学名 コンソ大学 学年 3 回生
電話番号		〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇	E-Mail 〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇

- ・申請後に連絡先の変更があった場合は必ず連絡してください。
- ・申請の各事項が欄内に記入しきれない場合は別紙（様式問わず）に記載してください。
- ・申請書の記入例を大学コンソーシアム京都のホームページに掲載しますので、御参照ください。
- ※メンバーの過半が学生で、かつ代表者が学生の団体等に限ります。また、連絡窓口も、学生の方にしてください。

【2】事業の概要

申請する事業名	(ふりがな) こんそだいがく○×ちいきみりょくさいはっけんぷろじえくと コンソ大学○×地域魅力再発見プロジェクト
事業の活動期間	2025年6月～2026年2月
イベント等予定日	※イベント等を実施する場合は予定日もしくは月を記入 2025年9月1日
事業の対象とする 行政区／地域・場所等	(京都市○○区)／(町内会、学校等) 京都市○○区／(○×学区)
事業の対象者／人数	○×商店街及び周辺地域の市民全般 / ●●人を想定
どのような目的で 事業を実施するの か・事業の効果	<p>①課題としてとらえていること 少子高齢化が進む地域において、地域交流が希薄になりつつあるなど、地域活性化が課題となっている。</p> <p>②目的 世代を超えた市民の交流と、大学生などの若者の取組による地域活性化</p> <p>③事業の効果 本事業では大学生の目線で京都市域の魅力を発信しつつ、○×商店街や○×区民交流館を拠点とした各種催しを通じて地域活性化を目指す。</p> <p>※記入に当たっては、できる限り、地域の方や関係する行政機関等から意見を聴いて記入してください。</p>
事業の内容／スケジュール (目的を達成するために、どのような事業を実施するのか)	<p>【事業の内容】 ○×地域はかつて、京都の繁華街があった地域であり、神社仏閣、歴史的価値の高い建物・遺跡などが多い地域である。しかし、現在は高齢化が進み、繁華街の拠点も移動したことで、かつての賑わいを失ってしまった。 ○×地域にはコンソ大学があるため、通学者や居住者に大学生が一定の割合を占めている。学生の力を○×地域の魅力や商店街の活性化、市民の交流機会創出に活かし、新たな地域の魅力を広く発信する。</p> <p>【スケジュール】 京都市○○区○×商店街・区民交流館を中心としたエリアで以下の催しを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○×学区の小学生と保護者を対象としたものづくりワークショップ(○月上旬) ・○×商店街の空き店舗を利用した映画上映会(○月中旬) ・○×地域の区民交流館を拠点としたいきいき交流カフェ(毎月1回) ・コンソ大学学生による○×地域魅力再発見オンラインツアー(新規) ・コンソ大学学生による高齢者向けオンライン体操教室(新規)(○月、○月、○月)
連携する団体とそれぞれの役割 (予定も含む)	<p>【連携する地域団体名や大学の団体・グループ名・役割など】 ※連携団体が決まっていない場合等は、想定しているものを記入すること</p> <ol style="list-style-type: none"> ① コンソ大学地域連携推進室 予算管理、地域団体との調整補助 ② コンソ大学まちづくりサークル「GAKUMACHI」事業の企画、運営、実施 ③ ○○区○×地域自治連合会 事業に関する広報等、アンケート協力等 ④ ○×商店街振興会 事業の会場提供、運営協力 ⑤ NPO法人△○□まちおこし協会 事業企画・運営に関するコンサルタント

事業実施に向けた連携する団体との連携・協議等の状況 (予定も含む)	※連携団体が決まっていない場合等は、想定しているものを記入すること コンソ大学地域連携推進室、コンソ大学まちづくりサークル「GAKUMACHI」、 ○○区○×地域自治連合会、○×商店街振興会、NPO 法人△○□まちおこし 協会と、定期的な懇談会を設定し、昨年度事業の振り返りと、次年度の課題、 事業方針、新規取組等について協議中である。4月に第1回目の会合を開催 し、5月上旬に第2回目を予定している。
これまで、地域と連携して取り組んだこと。また工夫していること ※ある場合のみ記入	学生の力を○×地域の魅力や商店街の活性化、市民の交流機会創出に活かし、 新たな地域の魅力を広く発信するため、企画の段階から、○×地域自治連合 会との打ち合わせを重ね、実施する企画の内容や方針について、連携しなが ら進めている。
事業の独自性・先進性などのアピールポイント (他地域に参考となる点をPRしてください。)	より良い取組となるよう、月に1回程度、関連地域団体と協議する場を設け ており、課題や実施事業の方針の共有、取組の振り返りなどを行っている。 また、コンサルティングの役割として、まちおこしを専門とするNPO法人の 職員の方から取組に対する助言を得ている。
事業の今後の展望、将来性 (地域活性化事業としての将来性をPRしてください。)	今後は、さらなる地域での周知をはかり、対象地域の拡大に期待するととも に、大学を通じた広報活動のほか、新たにSNSやオンラインを活用すること で、京都・地域の魅力の発信を強化し、地域の産業、観光、市民交流の活性 化につなげる。 今年度はオンラインの利用による参加者層の拡大を目指しており、広報方法 の多様化(HP制作、SNSなどの活用)などを考えている。 また、関わる学生も主催団体に留まらず、大学全体から参加者を募る仕組み を整備する。
今年度、新たに実施する取組や改善点 (これまでの取組を踏まえ、改善したことや新しく取り組むことなどを併せて記入してください。)	※継続事業の場合は必ず記入してください。 事業が3年目を迎え、認知度が少しずつ上がってきたことにより、これまで以 上に、世代を超えた市民との交流が見られるようになっており、今後も継続 して実施することが必要だと考えている。 課題として、フリーマーケットや交流カフェ等に参加される方の固定化が見 られるため、HP制作やSNSなどを活用し広報策を充実させることで、新たな 参加者獲得につなげていきたい。

(参考) SDGs について

事業が貢献するSDGs(持続可能な開発目標)の目標番号 ※審査に直接関わるものではありません。	※6 ページの『参考資料 SDGs(持続可能な開発目標)について』を御参照の上、自身の取組が以下のどの目標に貢献できるか、該当する番号を☑してください。 <input type="checkbox"/> 1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> 6 安全な水とトイレを世界中に <input type="checkbox"/> 11 住み続けられるまちづくりを <input checked="" type="checkbox"/> 16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> 2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input checked="" type="checkbox"/> 12 つくる責任つかう責任 <input type="checkbox"/> 17 パートナーシップで目標を達成しよう <input checked="" type="checkbox"/> 3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> 8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> 13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> 4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> 9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> 14 海の豊かさを守ろう <input checked="" type="checkbox"/> 5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> 10 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> 15 陸の豊かさを守ろう
---	---

【3】 予算書

事業経費			
経費区分	支出予定額	うち本支援金額 (上限30万円)	(支出予定額)の内訳
旅費交通費	80,000	80,000	イベント会場への交通費 5名*(区間、交通手段、回数)
通信運搬費	15,000	10,000	関係機関チラシ送付代
諸謝金			
会議費	20,000	20,000	〇〇のための会議に係る会場 使用料5,000円*4回(会場名)
印刷製本費	50,000	50,000	イベントチラシ作成(A4判〇枚)
資料費			
機材購入費	100,000	100,000	動画作成用ビデオカメラ購入
消耗品費	45,000	40,000	ワークショップ用物品購入 (〇〇、〇〇等)
その他			
対象経費小計(A)	310,000円	300,000円	
飲食費	100,000		参加者弁当代
対象外経費小計(B)	100,000円		
合計(C) = (A) + (B)	410,000円	300,000円	

収入額			
区分	収入予定額	内訳	
学まちコラボ事業支援金	300,000		
その他の 資金	その他補助金	80,000	コンソ大学チャレンジ奨学金
	事業収入	10,000	〇〇イベント参加費(①100円× 20人×5回)
	寄附金・協賛金	10,000	〇×商店街振興会協賛金
	自己負担金	10,000	
合計(D)	410,000円		

※「支出予定額」の合計額(C)と「収入予定額」の合計額(D)は一致させてください。また、事業経費の「うち本支援金額」の小計と、収入額の「学まちコラボ事業支援金」の金額も一致させてください。

【留意事項】

1. 支援金の対象となる経費：「申請した取組に直接かかる経費」のみ

- ・ 旅費交通費(出張に伴う交通費など)
- ・ 通信運搬費(電話代、郵送料および宅配料など)
- ・ 諸謝金(講師や外部協力者に対する謝金など)
- ・ 会議費(会議等の開催に要する会場利用料など)
- ・ 印刷製本費(資料などのコピー代、チラシの作成費など)
- ・ 資料費(図書・文献購入費など)
- ・ 機材購入費(採択された支援金額の3分の1まで)
- ・ 消耗品費(事務用品、事業に必要な備品(5万円未満)、ソフトウェアライセンス料、感染症対策に係る物品など)
- ・ その他(保険料、委託費など)

2. 対象外経費（支援金の対象とならない経費）

- ・ 各団体の運営のために支出する経費
- ・ 飲食費（昼食代や会議・懇談会の茶菓代、謝礼としてのお菓子代等）
- ・ 申請団体メンバーへの賃金等

※ 事業実施が不可能な場合や事前に相談なく事業内容を大幅に変更した場合、また、決算時にその他収入（事業収入や協賛金）が多くなり、黒字となる場合などには、**支援金の全額又は一部を返金**していただくことがあります。

不明な点は、事務局までご相談ください。

3. 他の助成金を申請している場合(予定を含む)

助成申請事業名、申請先、収入額(申請額)、決定日(予定)を**下表に必ず記入してください。**

※本事業以外の京都市助成金（各区まちづくり支援事業等）の採択決定の場合、本事業認定は受けられません。

助成申請事業名	申請先	収入額(申請額)(円)	決定日(予定)
コンソ大学チャレンジ奨学金	コンソ大学	100,000円	2023年6月上旬

4. その他

「支出予定額」の合計額(C)と「収入予定額」の合計額(D)は一致させてください。また、事業経費の「うち本支援金額」と、収入額の「学まちコラボ事業支援金」の金額も一致させてください。

参考資料 SDGs（持続可能な開発目標）について

記入のお願い

申請する事業において、以下の17の開発目標のうち関連が深いものの番号とその選択理由や関連性を、申請書の『【2】事業の概要：事業が貢献するSDGs（持続可能な開発目標）の目標番号欄』へ記入してください（複数ある場合は、主な3つまでに絞ってください）。

持続可能な開発目標 SDGs とは

SDGs（エスディー・ジーズ）は、2015年9月の国連サミットにおいて、気候変動、自然災害、生物多様性、紛争、格差の是正などの国内外の課題の解決に向けて掲げられた国際目標（17の目標と169のターゲット）です。

2030年までの目標達成に向けて、世界の全ての国・地域の政府だけでなく、更には地方自治体や民間企業等もその達成に向けて取り組むこととされています。

「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会を築いていくためには、「ひとごと」でなく「じぶんごと」「みんなごと」としてSDGsの達成に皆で取り組むことが重要です。皆さんの活動が、SDGsのどの目標の達成に貢献できるか、ぜひ考えてみてください。

【参考】持続可能な開発目標（SDGs）の概要



ロゴ：国連広報センター作成

目標9（インフラ、産業化、イノベーション）	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10（不平等）	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11（持続可能な都市）	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12（持続可能な生産と消費）	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13（気候変動）	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14（海洋資源）	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15（陸上資源）	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16（平和）	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17（実施手段）	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

外務省 HP 『持続可能な開発のための 2030 アジェンダ』 より抜粋